

国際賞（奨励賞）講演

— 第1日 9月19日（金）13:00~14:00 —

ITL01 ことばの学習のメカニズム — 制約理論とその先—

E301

講演者 慶應義塾大学 今井 むつみ

司会者 お茶の水女子大学 内田 伸子

要旨

幼児におけることばの学習は非常にパラドキシカルである。哲学者クワインが指摘するように指示対象の一事例からことばの意味を推論し、そのことばを他の対象に般用することは論理的には不可能である。しかし幼児は多くの場合ことばの指示対象の一事例を示されただけでそのことばをほぼ正しく般用する。このパラドックスを説明する鍵として提唱されているのが、語意学習バイアスである。ただし、事物カテゴリーバイアス、相互排他性バイアスなどのバイアスは単独ではうまく機能しない。本講演では幼児がどのように語意学習バイアスを用い、その適用を制御しているのか、また、語意学習バイアスと一般の推論能力や他者の意図の推論能力など、領域全般の認知能力とどのような関係にあるのかを考察し、語意学習バイアス、領域一般の認知能力、概念知識との間のブートストラッピングによるレキシコンの学習のメカニズムについて議論する。